

活動名「六呂師高原で雪あそび&冬山の豊かさを知ろう」

1. 日時 2024 年 2 月 25 日 (日)

2. 場所 越前市八ッ杉森林学習センター

3. 内容

前半は専門講師による地球環境について考える PW (プロジェクトワイルド) プログラム (以下 PW プログラム) を全員で体験した。「自然の中の生き物のバランスを考えよう」をテーマに、いくつかのアクティビティを通して、水や食べ物、住まいといった環境と野生動物の個体数が密接に関係していること (生態系) について考える時間になった。

後半は冬の自然の中で遊びながら、森の大切さを感じることを目的としていたが、降雪量が少なく雪あそび実施が中止となった。そこで日本の伝統文化である和風つくりを体験した。

4. 参加人数 33 名 (小学生 24 名、一般保護者 3 名、リーダー 6 名)

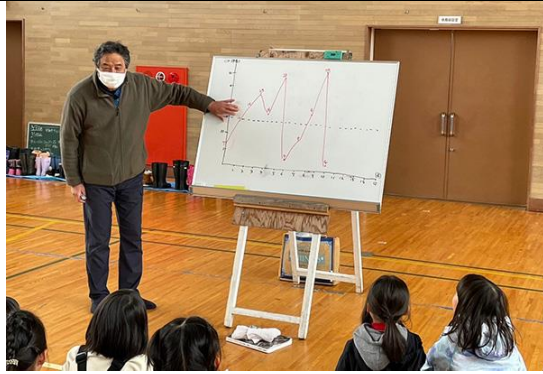
5. 活動の様子



自然の中で生きていくためには水、食べ物、住まい、場所がどれも欠けてはいけない密接な関係だということを人間椅子を使って表現してみました。



「鹿」「水」「食べ物」「住みか」の 4 つに全員が割り振られ、体育館全体を使ってのゲーム。鹿が増えると食べ物が減ってしまい、翌年には鹿の個体が減ってしまうといったバランスを学びました。



ゲームの後はふりかえり。自然の中の環境と生き物についてのバランスをみんなで考えてみました。



雪遊びが中止になり、和紙と竹ひごを使って和凧づくりを体験しました。



参加者は好きな文字を筆で書き、和凧を完成させました。



<参加者の感想>

- ・動物の名前を当てたり、鹿になって食べ物を奪いに行ったりして面白かった。
- ・食べ物がなくなると鹿が死んでしまう。鹿が少なくなると食べ物が余って多くなる。多くなったり少なくなったりするんだなあと思った。
- ・作った凧を早く凧あげしたい。
- ・和凧の糸を通すところがむずかしかった。

<ガールスカウト福井第28団の活動ブログ>

<https://gs-fukui28.jugem.jp/?eid=57>

6. 事業の成果

大野の六呂師高原には定期的に訪れて自然の中で過ごす活動を行っている。今回は雪あそびを行う予定だったが、降雪量が少なく中止になってしまい残念だった。

予備で考えていた和凧つくりは低学年には少し難しかったようだが、一生懸命、集中して作っていた姿が印象的だった。

環境問題を考える「PWプログラム」のアクティビティを実施し、子ども達がゲームを通して、自然の中の生き物のバランスを考えることができたのはよかった。SDGs「森の豊かさを守ろう」に繋がる活動となった。

講師の方から野生動物と家畜の違いは？と質問されて、子ども達がいろいろな答えを発言していた。野生動物は自然環境の中で生きているので、バランスを保つことはなかなか難しいのだということも体験を通して理解したように感じた。